

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	情報収集を行い環境について出来る事を検討する			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	施設で使う物品が与える環境の影響など開示していく												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	再生エネルギーについて学ぶ所から研修で行う							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	自然の多い所で何か使える物がどうか検討する												12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則を周知して、禁止事項など説明をしながら、見直しを行っている																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	研修など行い知識を学んだり、施設運営については諏訪広域連合や保健所に相談など行い情報共有を行う																		16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	施設運営に関する知的財産などについての情報などパソコンにロックを掛け、ソフトを入れている									8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に関する指針を定め、周知すると共に、個人情報について研修を行い、適切に扱うようにしている																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	スタッフ、入居者について持ち物について規約を検討する																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	施設管理上の情報の取り扱いや、他の事業所等に対して説明を行いながら管理している、また今後も他の事業所と連携する為に情報共有を行う					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	外部に調査機関があり、調査した内容を公表している			3.9										12.4							
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	外部調査に加え、3か月に一度運営推進会議を行い、家族、市町村、保健所、相談員、管理者等で行い、サービスについて話し合う機会を作っている										9										
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	地元に適したサービスを常に検討している						6						12	13	14	15					
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	高齢化社会に向けた施設運営と人手不足の介護業界の為、特定技能の外国人の展開を行う	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域での高齢者の問題を理解しての施設運営を行い、病院や住宅と連携して地域の暮らしのサポートを行っている				4									9		11	12			14	15			17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	コロナ前はボランティアの参加など積極的に行っていた、今後も傾聴ボラや認知症オレンジリングなどの活動を行う				4												11					14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域密着型の施設運営を行う為に、地域資源を常に考え情報収集を行っている、地域資源である、ボランティア(地元)をお願いしている															8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	各施設で理念と行動指針を掲示して共有している、経営会議の議事録なども作成して共有している														8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守の為、介護に関する法律の研修を行い、法令以外にも不適切な問題にも類推解釈の検討をカンファレンスで行う																								16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	個々の外国人の対応の為、英語が話せる担当がいる、また地域のお祭りや日本語の勉強に適した研修に参加出来るように教育担当者を付けている																									16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	法人にサポートセンターを設置して各施設などの窓口を一つにすることにより、ステークホルダーとの対話が円滑に進める																								16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクマネジメントについてマニュアルを各種整備している																									16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域との関わりの中で高齢者福祉の持つ意味を理念や行動指針から意識しながら、社会、環境に意識した対応に取り組んでいる。																									16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPの作成を検討している																	9		11			13 13.1			16
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	会計事務所といつでも相談出来る体制を作っている																8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）